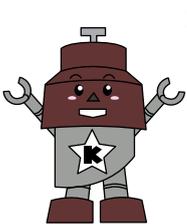


誰もが安心して暮らせる

# 安全・安心なまち川口



昨年の川口市内における刑法犯認知件数は、6,066件で、前年と比べ340件、5.3%の減となり、11年連続で減少しています。このように、犯罪件数が、減少し続けているにもかかわらず、平成27年8月に実施した市民意識調査では「治安が悪い」という意見が挙がっています。市では、こうしたイメージを払拭し、より安全なまちを目指し、さまざまな取り組みを行っています。



今年度、市の公用車に青色回転灯を装備した防犯パトロール車両(青パト)を20台配備しました。

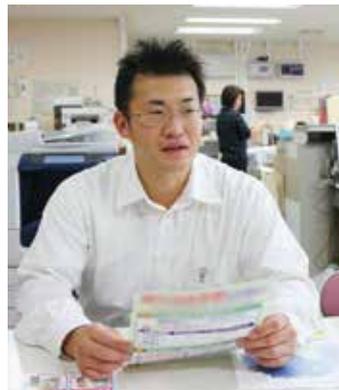


## その1 防犯パトロール車両の配備



安全・安心なまち川口の実現のため、市ではさまざまな取り組みを実施しています。今回は、「防犯パトロール車両の配備」、「防犯カメラの設置」、「自主防犯活動の推進」の代表的な3つの取り組みを紹介します。

## 3つの取り組み



車両の配備により市職員の移動が防犯パトロール活動となることで、費用を抑えながら広範囲を警戒することができるとなりました。また、警察による事前講習を受講することで、市職員自身の防犯意識が高まることも期待しています。今後5年間で100台配備し、日常的なパトロールをさらに強化していきます。

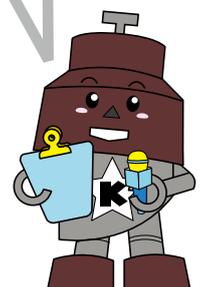
### インタビュー

1

Interview

市防犯対策室 副主幹  
福田 弘也  
(埼玉県警察から派遣)

3つの取り組みをインタビューしたきゅぽ



# 防犯カメラの設置

その2

川口・西川口・蕨・東川口の各駅周辺に計35台の防犯カメラを設置しました。また、町会・自治会への設置補助制度を創設するなど、平成30年度までに防犯カメラ400台の設置を目指しています。



## インタビュー 2 Interview

根岸第2町会長

矢作 福男さん

最近子どもを狙った不審者情報も多く寄せられることから、町会としても不安を感じていました。そこで、子どもたちが遊ぶ公園に隣接する町会会館に、防犯カメラを設置することにしました。地域の皆様の安全・安心を確保し、防犯・違反行為の抑止に大きく貢献できることを期待しています。



その3

# 自主防犯活動の推進

地域の防犯活動を支援するため、自主的に防犯活動を行っている町会、自治会、PTAなどの自主防犯組織団体に対し、パトロールに必要な資機材購入費の一部を補助しています。



## インタビュー 3 Interview

木曽呂第2町会長

高津 染治さん

隊員で担当地域を分担し、各自の受け持ち地域や注意箇所を重点的にパトロールをしています。活動を始めてから地域全体の防犯意識がぐっと上がりました。パトロールでは子どもが交通事故に遭わないように、安全誘導も行っています。継続的にパトロールをするようになって、子どもと顔見知りになると、子どもが可愛くなるんですよ。パトロールが苦にならなくなりました。あいさつは子どもの教育にもいいことですし、地域で子どもを見守ろう・育てようという地域の絆が強まってきたことを感じます。



# あなたもぜひ参加を

市では、「かわぐちRRUNRUNパトロール」や「川口市ライフスタイルパトロール」など、日頃行っているランニングやウォーキング、犬の散歩などの機会を利用して地域の見守りパトロールを行う個人の防犯活動を推進しています。普段からちよとした防犯意識を持つことが地域の安全を守ることにつながります。あなたも、安全・安心なまち川口をつくるため、防犯活動に参加してみませんか。



町会・自治会、市民、警察、市が一体となってさらに安全・安心なまちにするきゅぼ

